

## 安全データシート

## 炭化カルシウム

改訂日: 2024-01-24 版番号: 1

## 1. 化学品及び会社情報

## 製品識別子

|          |                       |
|----------|-----------------------|
| 製品名      | : 炭化カルシウム             |
| CB番号     | : CB5854217           |
| CAS      | : 75-20-7             |
| EINECS番号 | : 200-848-3           |
| 同義語      | : 炭化カルシウム, カルシウムカーバイド |

## 物質または混合物の関連する特定された用途、および推奨されない用途

|          |  |
|----------|--|
| 関連する特定用途 | : 研究開発用途にのみ使用。医薬品、家庭用品、その他の用途には使用しないでください。 |
| 推奨されない用途 | : なし                                       |

## 会社ID

|     |                     |
|-----|---------------------|
| 会社名 | : Chemicalbook      |
| 住所  | : 北京市海淀区上地十街匯煌国際1号棟 |
| 電話  | : 400-158-6606      |

## 2. 危険有害性の要約

## 2.1 GHS分類

|   |
|---|
| 眼に対する重篤な損傷性 / 眼刺激性 (区分1), H318              |
| 水生環境有害性 短期 (急性) (区分2), H401                 |
| このセクションで言及された H-ステートメントの全文は、セクション 16 を参照する。 |
| 皮膚腐食性 / 刺激性 (区分2), H315                     |
| 水反応可燃性化学品 (区分1), H260                       |
| 特定標的臓器毒性 (単回ばく露) (区分3), 気道刺激性, H335         |

## 2.2 注意書きも含む GHSラベル要素

## 絵表示

| GHS02 | GHS05 | GHS07 |
|-------|-------|-------|
|       |       |       |

## 注意喚起語

危険

危険有害性情報

H335 呼吸器への刺激のおそれ。

H401 水生生物に毒性。

H318 重篤な眼の損傷。

H315 皮膚刺激。

H260 水に触れると自然発火するおそれのある可燃性ガスを発生。

#### 注意書き

#### 安全対策

P223 水と接触させないこと。

P231 + P232 湿気を遮断し、不活性ガス下で取り扱うこと。

P264 取扱い後は皮膚をよく洗うこと。

P273 環境への放出を避けること。

P280 保護手袋 / 保護衣 / 保護眼鏡 / 保護面を着用すること。

P271 屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。

P261 粉じんの吸入を避けること。

#### 応急措置

P302 + P352 皮膚に付着した場合：多量の水で洗うこと。

P332 + P313 皮膚刺激が生じた場合：医師の診察 / 手当を受けること。

P305 + P351 + P338 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

P304 + P340 + P312 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪いときは医師に連絡すること。

#### 保管

P402 + P404 乾燥した場所で密閉容器に保管すること。

P405 施錠して保管すること。

P403 + P233 換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。

#### 廃棄

P501 内容物 / 容器を承認された処理施設に廃棄すること。

## 2.3 他の危険有害性

なし

---

## 3. 組成及び成分情報

|                |               |
|----------------|---------------|
| 化学物質・混合物の区別    | : 化学物質        |
| 化学特性(示性式、構造式等) | : C2Ca        |
| 分子量            | : 64.10 g/mol |
| CAS番号          | : 75-20-7     |
| EC番号           | : 200-848-3   |
| 化審法官報公示番号      | : 1-119       |
| 安衛法官報公示番号      | : -           |

---

## 4. 応急措置

### 4.1 必要な応急手当

## 一般的アドバイス

この安全データシートを担当医に見せる。

### 吸入した場合

吸入後は新鮮な空気を吸うこと。

### 皮膚に付着した場合

皮膚に接触した場合: すべての汚染された衣類を直ちに脱ぐこと。皮膚を流水/シャワーで洗うこと。

### 眼に入った場合

眼に触れた後は多量の水ですすぐこと。ただちに眼科医の診察を受けること。コンタクトレンズをはずす。

### 飲み込んだ場合

飲み込んだ後はただちに水を飲ませること(多くても2杯) 医師に相談する。

## 4.2 急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状

もっとも重要な既知の徴候と症状は、ラベル表示(項目2.2を参照)および/または項目11に記載されている

## 4.3 緊急治療及び必要とされる特別処置の指示

データなし

---

# 5. 火災時の措置

## 5.1 消火剤

使ってはならない消火剤

水泡

適切な消火剤

現場の状況と周辺環境に応じて適切な消火手段を用いる。

## 5.2 特有の危険有害性

酸化カルシウム

不可燃性である。

次の臓器には触れないであろう: 水

周辺の火災で有害な蒸気を放出することがある。

## 5.3 消防士へのアドバイス

自給式呼吸器がある場合のみ危険区域に留まってもよい。安全なゾーンまで離れるか適切な保護衣を着用して、皮膚に触れないようにすること。

## 5.4 詳細情報

消火水が、地上水または地下水のシステムを汚染しないようにする。

---

# 6. 漏出時の措置

## 6.1 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

救急隊員以外への助言: ほこりを吸い込まないこと。触れないようにすること。十分な換気を確保する。危険なエリアから避難し、緊急時手

順に従い、専門家に相談のこと個人保護については項目 8 を参照する。

## 6.2 環境に対する注意事項

物質が排水施設に流れ込まないようにする。爆発のおそれ。

## 6.3 封じ込め及び浄化の方法及び機材

排水溝に蓋をすること。こぼれたら集めて結合させ、ポンプですくい取る。物質の制限があれば順守のこと (セクション 7、10参照) 乾燥剤で処置すること。正しく廃棄すること。関係エリアを清掃のこと。ほこりを生じないようにすること。

## 6.4 参照すべき他の項目

廃棄はセクション13を参照。

---

# 7. 取扱い及び保管上の注意

## 7.1 安全な取扱いのための予防措置

### 安全取扱注意事項

作業場を乾燥状態に保つこと。本品が水と接しないようにすること。

### 衛生対策

汚した衣類はただちに替えること。予防的な皮膚保護を講じること。本物質を取り扱った後は手と顔を洗うこと。注意事項は項目2.2を参照。

## 7.2 配合禁忌等を踏まえた保管条件

### 保管クラス

保管クラス (ドイツ) (TRGS 510): 4.3: 水に触れるとフリー引火性ガスを誘発する危険物

### 保管条件

密閉のこと。熱や発火源から遠ざける。保管中は、製品と水との接触を絶対に避ける。不活性ガス下に貯蔵する。湿気に反応する。水と激しく反応。不活性ガス下で取り扱い、貯蔵する。

## 7.3 特定の最終用途

項目1.2に記載されている用途以外には、その他の特定の用途が定められていない

---

# 8. ばく露防止及び保護措置

## 8.1 管理濃度

### コンポーネント別作業環境測定パラメータ

許容濃度が設定されている物質を含有していない。

## 8.2 曝露防止

### 適切な技術的管理

汚した衣類はただちに替えること。予防的な皮膚保護を講じること。本物質を取り扱った後は手と顔を洗うこと。

### 保護具

#### 眼 / 顔面の保護

NIOSH (US) または EN 166 (EU) などの適切な政府機関の規格で試験され、認められた眼の

保護具を使用する。密着性の高い安全ゴーグル

身体の保護

保護衣

呼吸用保護具

ほこりが生じた際に必要。

次の規格に準拠しているフィルター式呼吸器保護具を推奨します。DIN EN 143、DIN 14387お

よび使用済み呼吸器保護システムに関連する他の付属規格。

環境暴露の制御

物質が排水施設に流れ込まないようにする。爆発のおそれ。

---

## 9. 物理的及び化学的性質

### Information on basic physicochemical properties

|                           |                                  |
|---------------------------|----------------------------------|
| 物理状態                      | 結晶性                              |
| 色                         | データなし                            |
| 臭い                        | データなし                            |
| 融点 / 凝固点                  | 融点/ 範囲: 2,300 °C                 |
| 沸点, 初留点及び沸騰範囲             | データなし                            |
| 可燃性 (固体、気体)               | この製品はGHS分類の可燃性ではない。 - 引火性 (固体)   |
| 引火上限/下限または爆発限界            | データなし                            |
| 引火点                       | データなし                            |
| 自然発火温度                    | 390 °C                           |
| 分解温度                      | データなし                            |
| pH                        | 12.48 at 20 grm/l                |
| 粘度                        | 動粘度 (動粘性率): データなし 粘度(粘性率): データなし |
| 水溶性                       | データなし                            |
| n-オクタノール / 水分分配係数 (log 値) | データなし                            |
| 蒸気圧                       | データなし                            |
| 密度                        | 2.22 g/mL at 25 °C - lit.        |
| 比重                        | データなし                            |
| 相対ガス密度                    | データなし                            |
| 粒子特性                      | データなし                            |
| 爆発特性                      | 非爆発性                             |
| 酸化特性                      | なし                               |
| データなし                     |                                  |

### 9.2 その他の安全情報

データなし

---

## 10. 安定性及び反応性

## 10.1 反応性

データなし

## 10.2 化学的安定性

標準的な大気条件(室温)で化学的に安定。

## 10.3 危険有害反応可能性

データなし

## 10.4 避けるべき条件

湿気

## 10.5 混触危険物質

強酸化剤, 水と激しく反応。

## 10.6 危険有害な分解生成物

火災の場合:項目5を参照

---

# 11. 有害性情報

## 11.1 毒性情報

### 急性毒性

経口: データなし

経皮: データなし

吸入: データなし

### 皮膚腐食性 / 刺激性

データなし

### 眼に対する重篤な損傷性 / 眼刺激性

データなし

### 呼吸器感作性又は皮膚感作性

マキシマイゼーション試験 - モルモット

結果: 皮膚を過敏化させない。

(OECD 試験ガイドライン 406)

### 生殖細胞変異原性

データなし

### 発がん性

データなし

### 生殖毒性

特定標的臓器毒性 (単回ばく露)

データなし

特定標的臓器毒性 (反復ばく露)

データなし

データなし

誤えん有害性

データなし

## 11.2 追加情報

咳, 息切れ, 頭痛, 吐き気, 嘔吐

---

## 12. 環境影響情報

### 12.1 生態毒性

#### 魚毒性

止水式試験 LC50 - *Oncorhynchus mykiss* (ニジマス) - > 50 mg/l - 96 h

(OECD 試験ガイドライン 203)

#### ミジンコ等の水生無脊

止水式試験 EC50 - *Daphnia magna* (オオミジンコ) - 4.62 mg/l - 48 h

#### 椎動物に対する毒性

(OECD 試験ガイドライン 202)

#### 藻類に対する毒性

止水式試験 EC50 - *Desmodesmus subspicatus* (セネデスマス・サブスピカトゥス) - 46 mg/l - 72 h

(OECD 試験ガイドライン 201)

### 12.2 残留性・分解性

データなし

### 12.3 生体蓄積性

データなし

### 12.4 土壌中の移動性

データなし

### 12.5 PBT および vPvB の評価結果

化学物質安全性評価が必要ではない/行っていないため、PBT/vPvB評価データはない。

### 12.6 内分泌かく乱性

データなし

### 12.7 他の有害影響

データなし

---

## 13. 廃棄上の注意

### 13.1 廃棄物処理方法

製品

内容物及び容器は、関連法規及び各自治体の条例等の規制に従い、産業廃棄物として適切に処理すること。

---

## 14. 輸送上の注意

### 14.1 国連番号

ADR/RID（陸上規制）：1402 IMDG（海上規制）：1402 IATA-DGR（航空規制）：1402

### 14.2 国連輸送名

IMDG（海上規制）：CALCIUM CARBIDE

Passenger Aircraft: Not permitted for transport

IATA-DGR（航空規制）：Calcium carbide

ADR/RID（陸上規制）：CALCIUM CARBIDE

### 14.3 輸送危険有害性クラス

ADR/RID（陸上規制）：4.3 IMDG（海上規制）：4.3 IATA-DGR（航空規制）：4.3

### 14.4 容器等級

ADR/RID（陸上規制）：I IMDG（海上規制）：I IATA-DGR（航空規制）：I

### 14.5 環境危険有害性

ADR/RID: 非該当 IMDG 海洋汚染物質(該当・非該当): IATA-DGR（航空規制）：非該当  
非該当

### 14.6 特別の安全対策

なし

### 14.7 混触危険物質

強酸化剤, 水と激しく反応。

---

## 15. 適用法令

### 15.1 物質または混合物に固有の安全、健康および環境に関する規則/法律

#### 国内適用法令

消防法:

第3類:自然発火性物質及び禁水性物質, カルシウム又はアルミニウムの炭化物,危険等級I, 第一種自然発火性物質及び禁水性物質  
毒物及び劇物取締法:

非該当

労働安全衛生法

特定化学物質障害予防規則:

非該当

有機溶剤中毒予防規則:

非該当

名称等を通知すべき危険物及び有害物:



非該当

名称等を表示すべき危険物及び有害物:

非該当

化学物質排出把握管理促進法:

非該当

---

## 16. その他の情報

### 略語と頭字語

ADR: 道路による危険物の国際輸送に関する欧州協定

EC50: 有効濃度 50%

IATA: 国際航空運送協会

LD50: 致死量 50%

RID: 鉄道による危険物の国際輸送に関する規則

TWA: 時間加重平均

STEL: 短期暴露限度

LC50: 致死濃度 50%

IMDG: 国際海上危険物

CAS: ケミカルアブストラクトサービス

### 参考文献

- 【1】労働安全衛生法 ウェブサイト <https://www.mhlw.go.jp>
- 【2】化学物質審査規制法（化審法） <https://www.env.go.jp>
- 【3】化学物質排出把握管理促進法（PRTR法） <https://www.chemicoco.env.go.jp>
- 【4】NITE化学物質総合情報提供システム（NITE-CHRIP） <https://www.nite.go.jp/>
- 【5】カメオケミカルズ公式サイト <http://cameochemicals.noaa.gov/search/simple>
- 【6】ChemIDplus、ウェブサイト <http://chem.sis.nlm.nih.gov/chemidplus/chemidlite.jsp>
- 【7】ECHA - 欧州化学物質庁、ウェブサイト <https://echa.europa.eu/>
- 【8】eChemPortal - OECD 化学物質情報グローバルポータル、ウェブサイト <http://www.echemportal.org/echemportal/index?>  
<http://www.echemportal.org/echemportal/index?>  
pageID=0&request\_locale=en
- 【9】ERG - 米国運輸省による緊急対応ガイドブック、ウェブサイト <http://www.phmsa.dot.gov/hazmat/library/erg>
- 【10】有害物質に関するドイツ GESTIS データベース、ウェブサイト <http://www.dguv.de/ifa/gestis/gestis-stoffdatenbank/index-2.jsp>
- 【11】HSDB - 有害物質データバンク、ウェブサイト <https://toxnet.nlm.nih.gov/newtoxnet/hsdb.htm>
- 【12】IARC - 国際がん研究機関、ウェブサイト <http://www.iarc.fr/>
- 【13】IPCS - The International Chemical Safety Cards (ICSC)、ウェブサイト <http://www.ilo.org/dyn/icsc/showcard.home>
- 【14】Sigma-Aldrich、ウェブサイト <https://www.sigmaaldrich.com/>

### 免責事項:

本MSDS中の情報は指定された製品にのみ適用され、特に規定がない限り、本製品とその他の物質の混合物には適用されません。本MSDSは、製品使用者の適切な専門的なトレーニングを受けた者にのみ製品安全情報を提供します。本MSDSの使用者は、本SDSの適用性について独自に判断しなければならない。本MSDSの著者は、本MSDSの使用によるいかなる傷害にも責任を負わない。